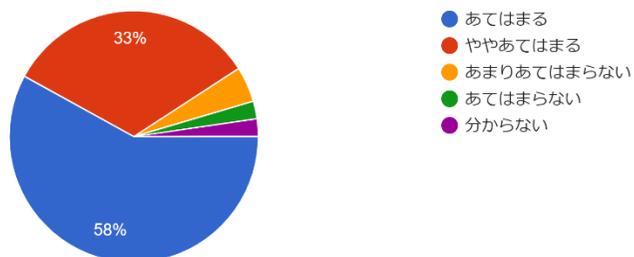


# 学校評価 保護者アンケート(2023.12月回答) 集約(グラフ)

日進小学校(2023年度)

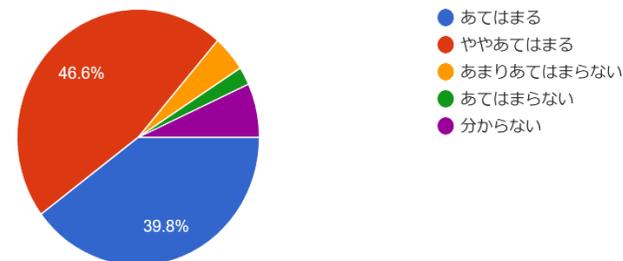
①お子さんは楽しく学校に行っていると思う

88件の回答



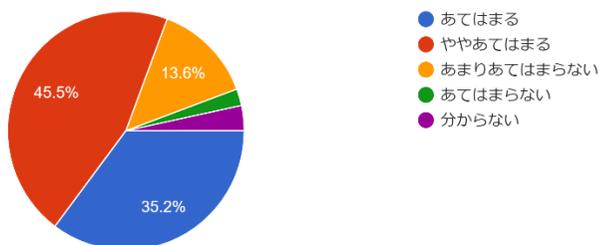
②お子さんは授業の内容を理解していると思う

88件の回答



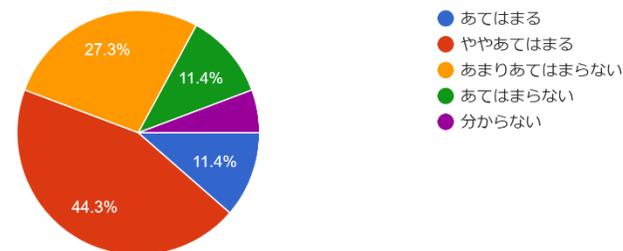
③お子さんは元気にあいさつをしていると思う

88件の回答



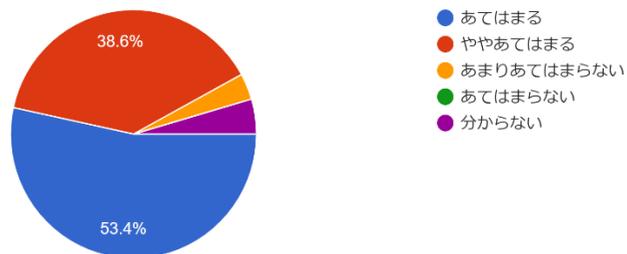
④お子さんは目標をもって学校生活を送っていると思う

88件の回答



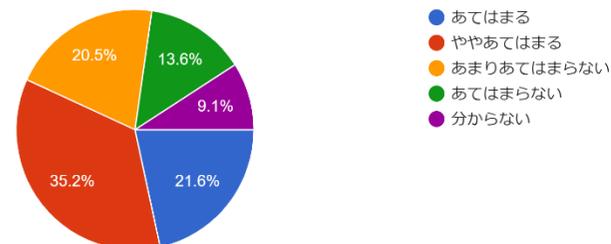
⑤お子さんは友達のことを大切にしていると思う

88件の回答

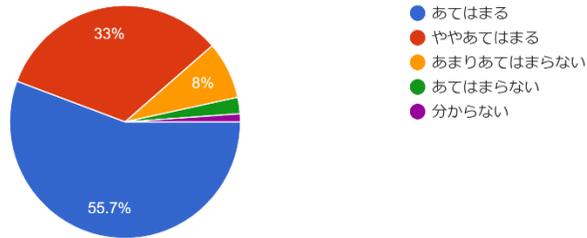


⑥お子さんは悩みや困りごとを教員に相談していると思う

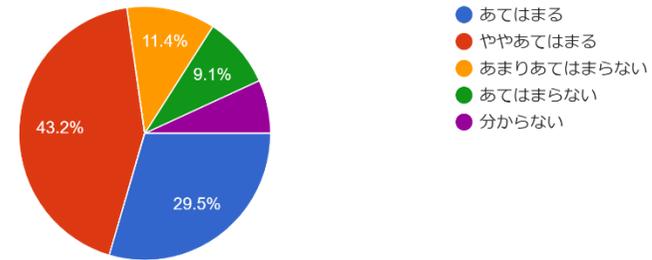
88件の回答



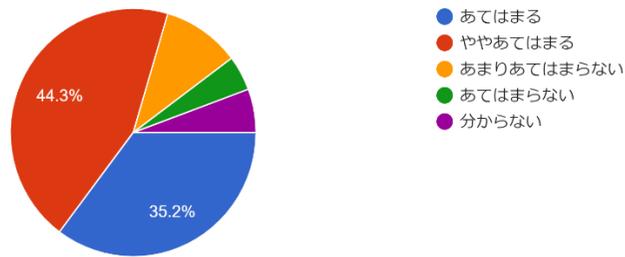
⑦お子さんは家で学校生活のことを話している  
88件の回答



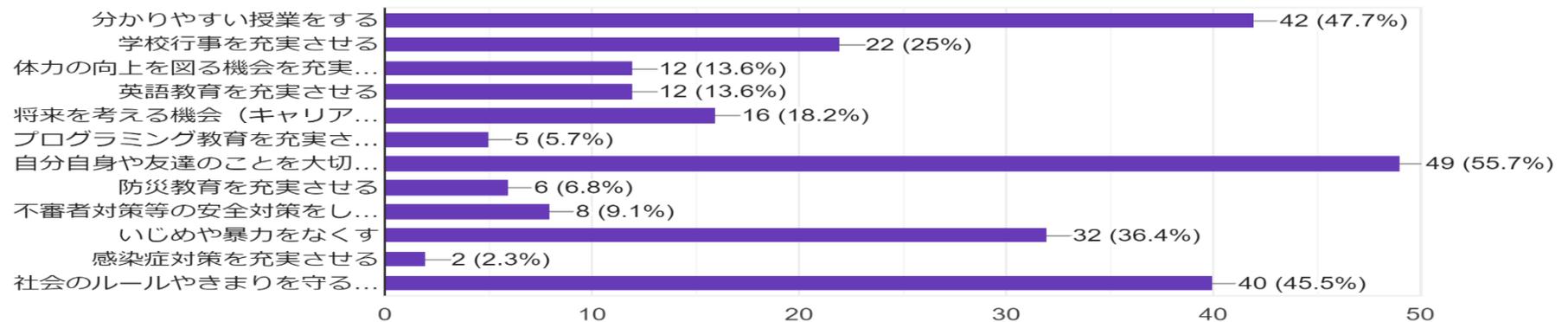
⑧お子さんに関する悩み事や困りごとを教員に相談しやすい  
88件の回答



⑨学校は家庭への連絡を大切にし学校の様子を知らせている  
88件の回答



⑩これから学校に力を入れてほしいことは何ですか（最高3つまで）  
88件の回答



11月中旬～12月初旬に実施した「保護者アンケート」では、同時期にとった各学年の「児童アンケート」と同じような項目について肯定的評価が高くなりました。そんな中でも、3(あまりあてはまらない)・4(あてはまらない)の評価もありますので、これまで以上に指導を充実させていきたいと思えます。

日進小学校だけでなく、桑名市の小中学校では教育委員会の指導の下、児童同士の「対話的な学習」「学び合い」を大切に、「めあて」と「ふりかえり」を大切にしながら、教育活動を行っています。その取り組みの成果から、「友達を大切に」「思いやりのある」「前向き」で「素直」な児童の姿に成長しつつあると言え、そのおかげで学校生活の安定につながっていると感じています。(学校が楽しいとの肯定的割合が91%)しかし、コロナ禍前に戻りつつあるとは言え、ここ数年間の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策などにより、「頭を寄せ合って…」というようなお互いの考えを受け止め合っの学習が減少していたことから日進小学校の児童の学びの成長カーブが緩くなってしまっていたと感じることも多々あります。学びを止めないために「一人一台タブレット」を活用した端末での学びあい活動を工夫しながら実施していますが、その影響が大きかったと言わざるを得ません。(空白の3年間と言えます。)

年度当初に実施された全国学力・学習状況調査(6年生)やみえスタディチェック(4・5年生)では、分析結果や個人結果票を9月に配布させていただきました。分析結果だけでなく、普段の状況からも、まだまだ「家庭学習の時間の少なさ」が課題と捉えており、その時間の「テレビ・ゲーム」・「SNS」などへの時間が非常に多くを占めている実態があります。家庭での過ごし方を読書や自主学習に物理的に置き換える必要があり、そのためにも学校だけでなく家庭・保護者と同じ方向を向いて、社会総体として工夫をし、指導を繰り返していかなければなりません。家庭学習の充実のためにも、「一人一台タブレット」による「デジタルドリル」のさらなる日常的な活用も積極的に取り組んでいきます。学校だけでなく保護者の方にもご協力いただき、ともに「学力向上」に取り組みたいです。

一方、「悩みや相談事への相談」は高学年になるほど、大人への相談よりも友だちへの相談が増えていると感じています。困りごとは保護者・教員だけでなく、誰でもいいので「相談しやすい大人」に支援を求めることを、学校でも児童に伝えています。子どもたちの元気な学校生活や健全な成長、将来の夢の実現に向かうために、学校だけでなく、家庭・地域とも一体となって連携しながら取り組んでいきたいと思えます。また、関係機関とも適切に連携し、同じ方向を向いて、児童の指導に当たっていきたく感じています。

これまでもお知らせし、学校HPにもアップしている、「日進小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止や早期発見・早期解決のために、年3回のいじめアンケート、学校全体での人権学習と人権集会、桑名市人権フォーラムへの参加、道徳の授業、子どもたちの言動からの振り返り等々、機会を捉えて様々な取り組みを継続して行います。加えて「人権学習」の公開授業や、いじめ防止や仲間づくりの教育活動のあとにはその様子をおたよりで紹介するなどの取り組みも行っていきたいです。今後も引き続き取り組みの強化をしていきたいと思えます。

ここ数年は全国的な新型コロナウイルス感染拡大の状況により、これまで経験したことがないような対応になったものが多くありました。この経験をプラスに捉え、すべてをコロナ禍前に戻すのではなく、「戻すもの」と「変えるもの」を学校運営協議会や教育委員会と相談しながら熟考し、学習や学校行事に取り組んでいます。できないこと・なくなったことを探すのではなく、「どんな方法ならより良いものとして取り組めるか」と前向きに検討していきたいと思えます。まだまだ心配はつきませんが、これまで大切にしてきたことに粘り強く取り組んでいきたいと思えます。

また、参加していただく学校行事の取り組みなど、児童の様子を直接見ていただくことにより、学校と保護者・地域がともに主体的につくりあげる(ともに参画する)学校(コミュニティスクール)を目指していきます。今後も引き続き、学校教育と子どもたちの健全育成に、ご理解とご協力をお願いします。

<個別意見>に関して、学校としてのおおまかな考えをお伝えします。(学校として検討できるものについては、今後検討を重ね、改善にいかしていきたいと思えます。)

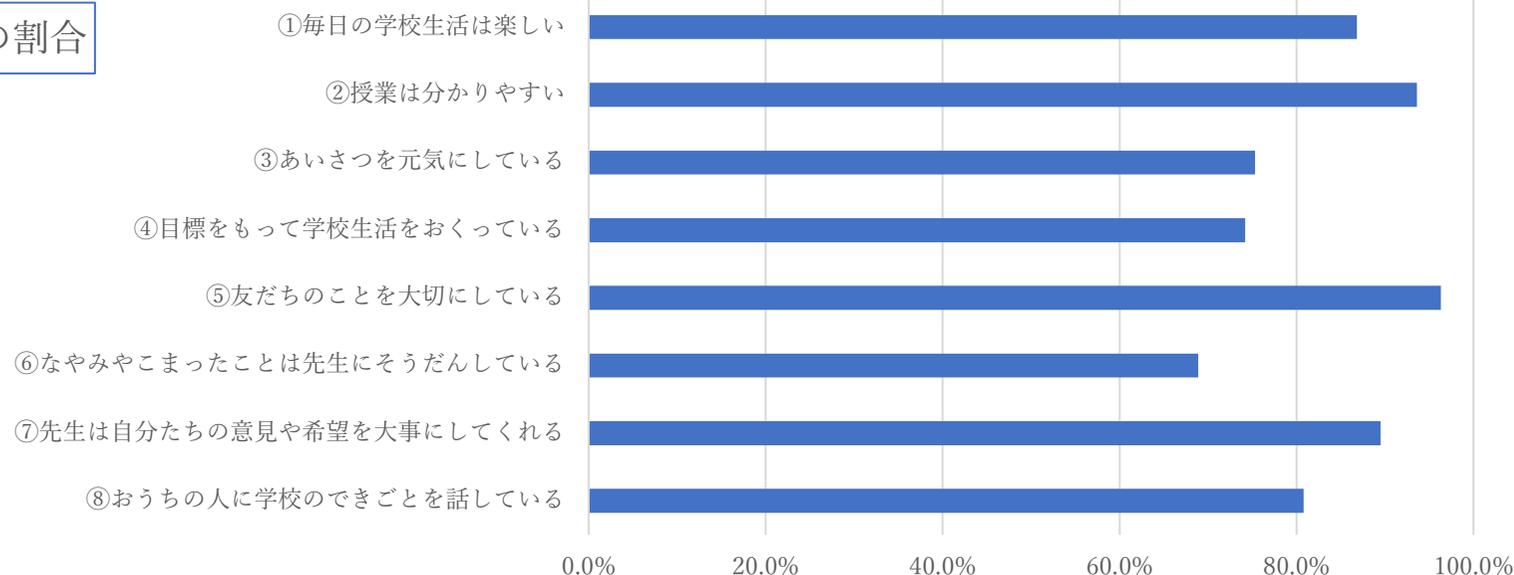
◎宿題・タブレットに関して … 宿題の量や内容は、各学年に応じ、また個別対応ができるような内容にできればと考えています。さらに、学年の成長段階に合わせ、自分で計画的に取り組む自主学習なども取り入れていきます。タブレット(重さやアプリなど、充電器等)に関しては、教育委員会にも要望し、改善できればと考えています。

◎あいさつに関して … 少しずつ「元気にあいさつする」児童が増えつつあるとは思いますが、まだまだであるとのことご意見だと思えます。保護者・地域のご協力を得て、更に強化していきたいと思えます。

◎学級編成、少人数学習 … 学校独自でできるものではなく、文部科学省の基準に則り、三重県・桑名市教育委員等の措置により実施できるものです。子どもたちの学力向上に向けて強く要望していきます。

◎学校施設改修 … トイレの改修など、施設の修繕などは、学校だけでなくPTAとともに要望しています。なかなか実施に至らないのが現状です。

## 肯定的評価(1+2)の割合



12月に実施した「児童アンケート」を集約・分析しました。肯定的評価(1 そう思う+2 ややそう思う)の割合は概ね高い傾向にあります。子どもたちはよく頑張っていて、「毎日の学校生活は楽しい」「友達を大切にしている」など、友達との良い関係づくりなど良い傾向にあると言えます。「日進小の児童」の長所である、ものごとに前向きで、友達との良い関係づくりがあらゆる行事への取り組みの成果と言えます。これまで学校全体で取り組んできた、「主体的・対話的で深い学び」に関して、本校では、各教科の授業だけでなく、あらゆる教育活動(学校行事)における「めあて」と「ふりかえり」の取り組みの成果と感じています。また、昨年度の結果と比べ、「③あいさつ」+10.7ポイント、「④目標を持って」+3.9ポイントなど、うれしい結果がありました。また、学校生活の中心である学習についても「②授業がわかりやすい」+6.5ポイント、「⑥悩みを先生に相談」+4.2ポイントとなり、教職員も引き続きがんばることにつながる結果が出ました。大変うれしく思います。その結果「①学校が楽しい」+1.6ポイントにつながっていると思います

個々に見ていくと、与えられた課題には前向きかつ真面目に取り組んでいるけれど、家庭学習時間や高学年の「自主学習」など自主的・計画的に取り組むことについては物理的に少ないのが実態です。高学年から、さらには中学校進学に向けて、自ら課題を見つけて計画的に取り組む「自主学習」について、主体的・計画的に取り組めるようにしたいと思います。

全般的に、概ね肯定的評価が多くを占めましたが、少数であっても「学校が楽しい」に関して「4 そう思わない」や「3 あまり思わない」と回答した児童もいました。これらの児童に対しては、これからも担任や養護教諭からの聞き取りや教育相談を引き続き行っていきます。困っていることや辛いと思っていることがあれば、つながりの深い友だちだけでなく、周りの大人(家族や担任・養護教諭)、スクールハートパートナーさん、スクールカウンセラーなど伝えやすい人に伝えることを学級でも話しています。またあらゆる機会を通して、相談機関のご紹介もしていきます。私たち教職員も保護者・地域の方々とともに、児童の安定した生活と成長のために力を注いでいかなければならないと改めて感じています。お子さんのことで「どうしたのかな」と感じる事があれば、まずは学校へ相談していただければと思います。